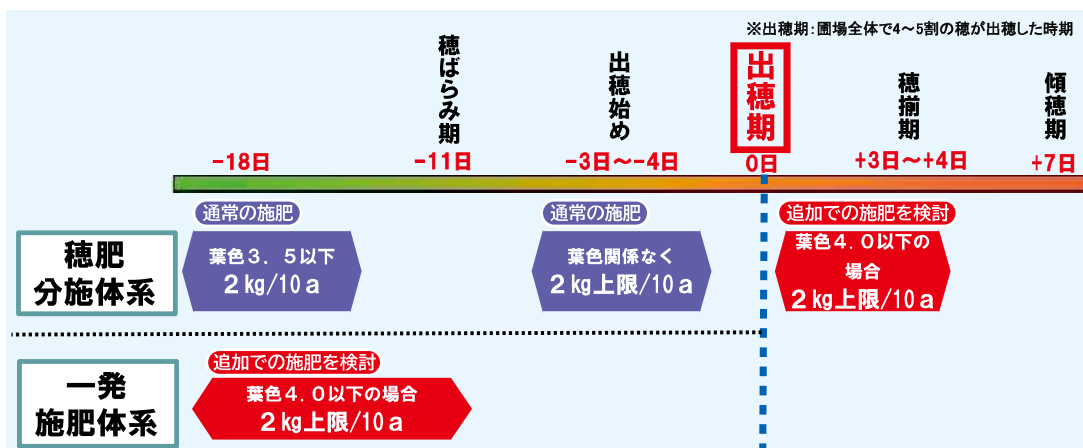




●葉色判断に基づく猛暑年における追肥の考え方(コシヒカリの場合)

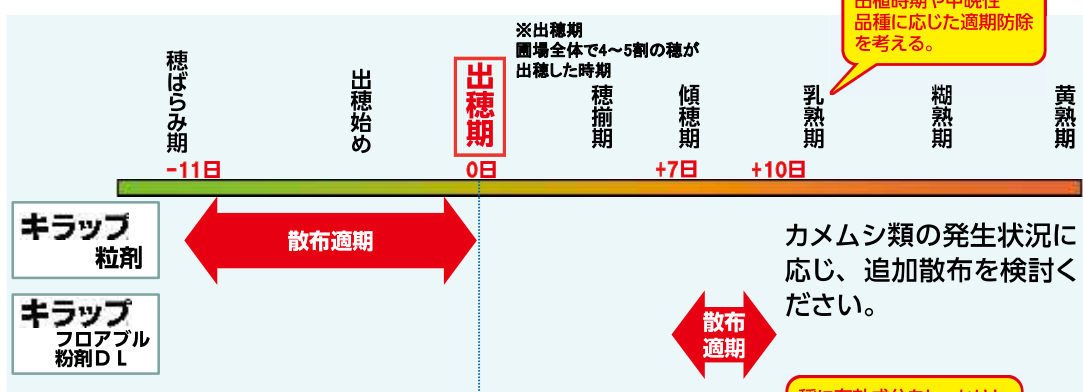
登熟期間中に高温が続くと稲の栄養が不足し、登熟不良となるため、高温の気象条件下では稲の栄養を維持することが重要となります。

籾への栄養を生育後半まで維持するために、稲の葉色を確認し状況に応じて追肥を行いましょう。追肥時期については、分施肥体系では出穂期から穂揃期、一発施肥体系では出穂11日前(穂ばらみ期)となります。



●斑点米カメムシ類の散布時期の考え方

斑点米カメムシ類に対する薬剤防除は、出穂期の判断が重要となります。斑点米は、籾の中身が詰まりはじめてからカメムシに被害されると発生します。斑点米カメムシ類に対する薬剤防除は使用薬剤に応じた適期防除を行いましょう。なお、草刈りと薬剤防除を組み合わせるとより高い防除効果が期待できます。特に圃場でヒエの発生が多い場合は、必ず防除しましょう。



●水管理について(キラップ粒剤)

- ・散布時は湛水状態(水深3～5cm)とし、水口および水尻を止めてください。
- ・散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水およびかけ流しをしないでください。

pick up
営農指導
活動

伊吹・山東の特産品「実山椒」 販売取扱先へお届け

特産振興課は、産地直送の通販サイト「JAタウン」や「生活協同組合コープしが」などに向けて、計300kgの実山椒を出荷しました。

実山椒は日本固有の香味野菜の一つで、滋賀県では小アユなどの湖魚を煮る際に、臭み消しとして一緒に使われることが多くあります。耐寒性が強いので、昼夜の寒暖差が大きく冬は厳しい寒さとなる伊吹山の麓では、古くから栽培されてきました。そうした気象条件の下で育った実山椒は、希少性が高く、香りや品質にも優れており、合併前の滋賀伊吹農協時代から非常に人気があります。

今年は「JAタウン」での販売量が増加し、早期に完売となりました。



特産振興課
加納 康代
(営農指導員)